

海外安全対策情報（平成27年度第2四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向

インドネシア国内においては、警察によるテロリストの摘発が引き続き行われているほか、インドネシア人のISIL支援者が増加しているとされており、当局によるISIL支援者への監視や取締りが強化されています。

9月には、ISILがその機関誌「ダービク」最新号の中で、日本を反ISIL連合構成国として言及し、ISIL域外での攻撃対象としての例示の中で、ボスニア、マレーシア、インドネシアに所在する日本の外交使節（大使館等）を列挙しました。

現時点においては、当地において同言及に呼応するような不穏な動きは確認されておらず、具体的なテロの情報はありませんが、引き続きテロ関係情報には御注意頂くとともに、外出時には周囲の状況に注意を払うなど自己防衛に努めてください。

（2）狂犬病

今年に入ってから9月末までバリ州内において、15人が狂犬病のため死亡しています。バリの保健当局は、狂犬病ワクチンのストックが3万本あり、州内全域に配布可能な量であるため過剰な心配は無用であるとしていますが、引き続き野犬には絶対に近づかないようにするとともに、飼い犬であっても咬まれないような注意が必要です。また、屋外を徒歩で移動する際は、周囲に警戒する、安易に動物に手を出さないなど、十分な警戒を行ってください。

（3）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」といった盗難被害が引き続き発生しています。

特に、深夜・早朝時間帯には、レギャン通り（爆弾テロ追悼モニュメント近く）のナイトクラブから徒歩でホテルへ帰る旅行者（グループ、カップル、男女を問わず）

が、集団の犯人に取り囲まれて話をしている隙に、ひったくりやスリに遭う盗難被害が継続して発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが頻発しています。その他、レストランでの置き引き被害の発生も見られます。

(2) 邦人被害事案

邦人の事件・事故についてパスポートをなくして当館へ報告された事案は以下のとおりです。

ア レギャン通りでのひったくりやスリ被害

日付	時間	被害種別	犯人	被害者・参考事項
7月7日	午後10時	スリ	集団	男4名グループ、ナイトクラブ帰り
9月28日	午前3時	スリ	集団	女性2人、ナイトクラブ帰り

※ 当館で詳細が確認できた被害のみ記載

イ ひったくり被害（前記以外）

- ① 8月13日午後1時頃、女性旅行者が同行者と2人でスミニャックの商店街をウィンドーショッピング中、後方より進行してきたオートバイに乗車した男にハンドバッグをひったくられた。
- ② 8月19日午後5時頃、クタ地区で、女性旅行者が同行者と2人で歩いていたところ、後方より進行してきたオートバイに乗車した男に肩に掛けていたトートバッグをひったくられた。
- ③ 9月22日午前0時頃、スミニャックで、男性旅行者が同行者と2人で道路脇歩道を歩いていたところ、後方より進行してきたオートバイに乗車した男に車道側に保持していたバッグをひったくられた。
- ④ 9月30日午後4時頃、スミニャックにおいて男性旅行者が同行者と2人で歩道を歩いていたところ、正面から対向してきたバイクに乗車した男に車道側に保持していたバッグをひったくられた。

エ その他被害

7月15日夕刻、クタのレストランで男性旅行者が家族で食事中、座席に置いておいた鞆を盗まれた。（置き引き被害）

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロに関連した事件は発生していませんが、9月22日、タバナン県ケディリの市場で、爆発物と疑われる包みが発見されています。爆弾処理班が確認したところ、ケーブルや目覚まし時計が濃紺の粘着テープに巻かれている状態でした。また9月25

日にクタのジェルマン・ビーチにおいて、ホリデイインホテルのスタッフが爆発物と思われる包みを発見しました。警察が確認したところ、ケーブル、バッテリー、爆竹などが入っていました。いずれのケースも本物の爆弾ではありませんでしたが、警察では悪質なはずらとみて捜査を行っている由です。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上